

藤医会

藤医会会報

藤田医科大学医学部同窓会

2023年8月発行 年2回発行



藤田医科大学ばんたね病院新棟イメージ図

藤医会・・・

本学医学部卒業生（正会員）と大学院医学研究科卒業生（大学院卒業会員）ならびに在学学生（学生会員）により運営されている同窓会組織です。1978年に第一回目の医学部卒業生の誕生と同時に設立されました。設立の目的は「会員相互の親睦と交流を図り、母校の発展と医学・医療の振興に貢献すること」にあります。おもな活動には会誌の発行、会員名簿の作成、教育・学術講演会の企画、懇親会の開催などがあり、会員間の情報交換の促進をはかり、親睦を深めることに寄与しています。そのほか、在学学生の学習環境の整備と課外活動の充実を目的とした援助をおこなっております。今後も、会員サービス、後進の支援、母校への協力を三本の柱として活動していく予定です。

目次

医学部長挨拶	P2
ばんたね病院新棟紹介	P3
医学部脳神経外科講座の臨床教授を拝命して	P4
医学部産婦人科学講座の臨床教授を拝命して	P5
令和4年度 藤医会総会	P6
令和4年度 藤医会 収支計算書・活動報告	P8
令和5年度 藤医会 収支予算案・活動予定	P9
卒業生教授就任記念講演会	P10
藤医会50周年記念誌「写真・メッセージ」ご協力をお願い	P11
医学部里親制度への藤医会ご支援と新しいPET検診、セラノスティクスセンターのご紹介	P12
2022年度 国家試験の結果・卒業生の進路	P14
2023 ホームカミングデー開催のお知らせ	P16



医学部長挨拶

藤田医科大学医学部 医学部長

岩田 仲生



同窓会の皆様方、日頃は医学部運営に多大なご支援を頂き改めて感謝申し上げます。医学部に関するトピックスを幾つか紹介しご挨拶とさせていただきます。

医学教育においては2024年4月から新しいモデルコアカリキュラムに移行します。今年度中に24年入学生の新しいカリキュラムプランを策定する作業を行っていきますが、今回のカリキュラム改訂の端々に新しい医学・医療をどう実践出来るか、医師としての人間力、コミュニケーション技能や共感力、そうしたものを6年間の教育で如何に身につけるかに重きが置かれています。本学は伝統的にこうした医師としての人間力を教育で習得する、つまり学びで獲得可能と位置づけ取り組んで参りました。医師養成の社会的使命としての要請であり説明責任のある教育目標として改めて強調されてきたと受け止めています。本学の伝統をさらに発展させた医学教育の改革に不断に努めて参ります。

また本年6月に7年ぶりとなる医学教育分野別認証、通称JACMEの外部審査を受審しました。我々の医学教育の取組を外部の専門家に評価いただく機会として教職員・学生一丸となって準備し無事に受審を終えることができました。様々なコメントを当日いただきましたが正式な審査内容は後日になり、これはホームページ上に公表しますので、機会がありましたらご覧頂ければと存じます。藤田の医学教育は日本一を目指しておりその成果がしっかり評価されたのではないかと自負しております。

藤田医科大学は創設者藤田啓介先生のコンセプトである研究とその臨床応用を特に大切に受け継いできています。大学で知を生み出し続けられるが、それを社会還元できるかが今後の大学の存立基盤です。私立大学として大学の活動、研究・教育・臨床を回しながら自立して成長を継続させるかが特に重要になってきています。本年度の研究関連の目標として3つ掲げています。

一つ目は地域中核・特色ある研究大学振興の対象校となることです。国は今後、特に国立大学への運営費補助金を縮小していくことを決めています。その中で日本の研究力がこれ以上後退させない大学支援政策として、一つは国際卓越研究大学制度によるトップ大学の選定を今年度から開始しました。もう一つは国際卓越と連携して地域、あるいは特色研究を

強みとした大学群を選定し支援することです。本学は特色研究大学として最初の関門である施設整備を受ける全国の30校の一つに選ばれました。私立大学は6校で所謂私立医科大学・医学部としては慶應義塾・順天堂と本学の3校が選定されました。引き続き強化促進事業に選定されるべく準備を進めているところです。

二つ目は昨年から申請を行っている橋渡し研究支援機関認定です。これは文部科学大臣が様々な研究シーズを発掘し臨床研究へ橋渡しできる機能をもっている機関を認定する制度で、現在大学としては所謂旧七帝大と岡山、筑波、そして私学は慶應義塾の10校のみですが11番目の大学としての認定を目指しています。

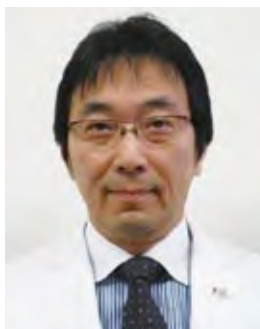
三つ目は共創の場形成支援プログラム、COI-NEXTへの採択です。これは大学が中心となって未来のあるべき社会像を創出実現していく研究開発で、単に大学だけでなく様々な企業、自治体、地域、そしてそこに暮らす多くの人が変わっていくことが求められます。本学は様々な技術開発を企業との共同開発を進めることで、まずは豊明・幸田・豊田をモデルとした介護ゼロ社会実現をテーマとして採択を目指しています。

上記の三つのプロジェクトに採択されることが、現在の藤田の実力が客観的に評価されることであり、本学が日本の大学の中で、あるいは医科大学の中でどういう位置にあり、何を目標しているのか明確にできると考えています。

臨床においては10月に東京キャンパスがオープンします。羽田空港隣接のHNEDA INNOVATION CITYに東京先端医療研究センターと羽田クリニックが開設されます。ここでは幅広い診療科目で現在の日本の保険医療制度内では実現不可能な最先端医療の開発と提供を進めていきます。

同窓会の皆様におかれましては本学の活動に何卒ご理解頂き、引き続きのご支援をお願いする次第です。





ばんたね病院新棟紹介

藤田医科大学ばんたね病院
病院長

堀口 明彦（7回生）

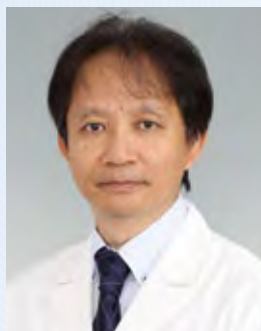
藤医会のみなさまにおかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

ばんたね病院は8月下旬に新棟が開設します。旧外来棟・医局棟、検査棟を解体し、地下1階地上4階の新棟は着々完成に向かっていきます。この新棟は、地下1階に画像診断フロア、1階にER、内科外来、2階に手術室7室、3階に小児科、眼科、4階には新たに透析センターを設置します。また、手術室を7室に新たに増設することで、様々な手術に対応できる体制とし、以前から力を入れております低侵襲手術である内視鏡下手術をda Vinci導入によりさらなる充実を図ってまいります。また、地域の透析医療のニーズに応えるべく、透析センターを設置し、切れ目のない地域医療を提供していきます。新棟竣工後は、急性期病院として救急外来での心肺停止をはじめとする重症患者の受け入れをさらに強化し、藤田医科大学の「断らない救急」を実践し、地域の救急医療に貢献してまいります。ばんたね病院が目指すべき、「いかなる患者さんも断らない地域に根付いた「ばんたねさん」」としてさらに社会貢献をしていきます。

一方、2024年医師の働き方改革に伴い、今までの「働きがい」に加え「効率良い働き方」を病院全体で取り組み、新棟開棟により全職員の士気を高めてまいります。高い目標をもち、日本一の総合診療を基盤とした都市型地域支援中核病院をめざしていく所存です。

本年も引き続き藤医会の皆様のご支援・ご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。





医学部脳神経外科学講座の 臨床教授を拝命して

藤田医科大学 医学部
脳神経外科学 教授

早川 基治 (14回生)



この度、2023年2月をもちまして医学部脳神経外科学 臨床教授を拝命しました。就任にあたりご尽力いただいた先生方に心より感謝申し上げるとともに、この場をお借りして藤医会の先生方や会員の皆様にご挨拶申し上げます。

私は1991年に本学を卒業後、故神野哲夫教授の主宰される脳神経外科へ入局しました。本学での2年間の研修終了後には関連病院へ2年間出張し、本学に戻って参りました。1998年に医学博士を取得し、その後に約1年間アメリカ留学(University of California Los Angeles, division of Interventional Neuroradiology)をさせていただきました。ここでは私の専門にしている脳神経血管内治療について勉強してきました。当時はこの治療分野が黎明期であり、留学先の教室では臨床と研究(主に新規デバイスの開発)がエネルギーに日々行われていました。医療の発展の一部をリアルタイムで見ることができ、非常に刺激的な留學生生活を送れました。帰国後は脳神経血管内治療を専門に診療と臨床研究を行ってきました。

教室では、アジア各国から多くの留學生が脳神経外科の勉強をしに来ていました。言葉や習慣の違いから日々、大なり小なりの事件が起きていました。また、神野哲夫教授指導のもとインドネシアやインドなどの途上国への学術交流などは途上国の医療状況を直接見学できる貴重な時間となりました。佐野公俊教授の時にはモンゴルへ訪問する機会があり、同様に現地の医療状況を見学してきました。草原のゲルに宿泊した時には周囲に明かりがないため、夜空には満天の星空があり、ただただ呆然と眺めていたことが記憶に残っています。

現在の廣瀬雄一教授の時にはミャンマーへ医療支援に行く機会が多くあり、現地で診察や脳神経血管内治療とその指導を行ってきました。一口に途上国といっても国や地域により事情

が大きく異なるため、現地に合わせた対応が必要になります。特に最近の事情としてはどこにいても皆、スマートフォンを持っています。それこそ、スラムへ行っても住民はスマートフォンを持っています。現在の情報社会では国境は関係なく、現地のドクターは、よく勉強しており、最新の情報もよく知っています。医療機器に関しては都市部の一部では必ずしもハイグレードとは限りませんが最新のものが導入されています。その状況で診療や治療をするためには、まず、自分が何者であるかを知ってもらわなくてはなりません。過去に藤田医科大学へ留学した医師が力になってくれますが、それでも大変でした。彼らの大切な患者さんを紹介してもらい、手術や治療を行うことは患者さんだけでなく、サポートしてもらう医師やコメディカルに自分を認めてもらわなくてはなりません。また、医療体制や設備、習慣も異なるため、普段なんとなく行っている準備や行為ひとつひとつに対して目が離せません。コロナやクーデターにより現在はミャンマーに訪問しにくくなっていますが、今でも時々連絡を取り合い、時にアドバイスをすることもあります。

2022年8月からは藤田医科大学岡崎医療センター脳神経外科へ診療科責任者として赴任しました。大学病院としての責務だけでなく、地域医療への貢献や後輩の指導はもとより、微力ではありますが、病院全体のことも考えることが多くなりました。自分の強みを単に伸ばすだけでなく、診療科として全体的にレベルが上がるように頑張っていきたいと考えています。また、病院の規模が本院と比べると小さいので、他科の医師が近くにいるため相談のしやすい環境づくりや、科に関わらず、若手医師のレベルアップにも貢献していきたいと思います。同窓の先生方におかれましては今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





医学部 産婦人科学講座の 臨床教授を拝命して

藤田医科大学 医学部
産婦人科学 教授

西尾 永司 (20回生)

2023年4月1日付きで藤田医科大学医学部産婦人科学講座臨床教授を拝命しました。就任にあたり、多大なるご支援ご指導を賜りました産婦人科学講座西澤春紀教授、婦人科学講座藤井多久磨教授には心より感謝申し上げます。私は1997年に本学を卒業し、藤田保健衛生大学(現藤田医科大学)医学部産婦人科学講座に入局し、臨床・研究・教育に携わってきました。

臨床は生殖補助医療、婦人科内視鏡手術、女性医学(更年期、漢方、内分泌)領域で自己研鑽と後進育成に努めてきました。2013年に前任者から不妊症部門責任者の職を引き継ぎ、2013年に51件だった体外受精件数を現在は5倍近くまで増加することができました。現在は世界初の顕微授精自動化システムと遠隔治療を藤田医科大学東京先端医療研究センターと共同で研究開発中です。今後は後進の育成とがん生殖の充実を主眼に考えています。婦人科内視鏡手術は子どもを授かる可能性を残すための妊孕性温存手術を多く実施しております。漢方分野では日本東洋医学会漢方専門医・指導医として後進の育成に務めています。2019年には全日本鍼灸学会の大会長を拝命し、河村たかし名古屋市長を招聘し大会に華を添えていただきました。役職として2019年より日本産科婦人科学会婦人科外来診療ガイドラインの代表幹事を務め、我が国の産婦人科医療に微力ながら協力しています。

研究面では大学院時代より一貫して医学部生化学教室でエストロゲン合成酵素アロマターゼの研究に従事しております。

アロマターゼ阻害剤の子宮内膜癌に対する抑制効果の研究で学位を取得後、アロマターゼノックアウトマウスを用い、肥満、摂食行動をテーマにした基礎的研究に携わり、医局員の学位作成を指導しております。当研究は日本女性医学会最優秀演題を2回獲得後、文部科学省科学研究費補助金を獲得し現在も継続しております。

教育は医学部、保健学科大学院、医療科学部大学院の3部門で講義、臨床実習の指導を担当しています。医学部では産婦人科学と東洋医学を講義し、医師に求められる高い倫理観が備わるように教育することを心がけています。2023年度は医学部3年生を対象に富山大学附属病院和漢診療科と漢方医学アクティラーニングラーニングプログラムの共同開催を予定しております。時間外学習にもかかわらず、医学部3年生6名が自主的にプログラムに参加希望していただき、将来的に藤田医科大学の漢方部門を担う人材になっていくと確信しております。医療科学部大学院の修士課程は体外受精の胚培養士資格を取得することが重要なので手技を中心に指導をし、今後胚培養士を多数育成したいと考えております。

藤田学園には医学部入学より33年間お世話になっており、この間藤田学園が日本トップレベルの組織になっていった過程をその中で体現でき大変幸運でした。今後藤田学園が世界のトップレベルの組織になれるよう微力ながら協力する所存です。今後も引き続き、諸先生方のご指導ご支援を何卒よろしく願いいたします。



令和4年度
(2022年度)

藤医会総会 議事録

日時 令和5(2023)年2月25日(土)

場所 ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
29階 クリスタルルーム

16時30分 定刻開会

開会宣言(会長)

今年度逝去された藤医会会員へ、参加者全員で黙祷。

会長より議長を副会長根木に指名、承認。

出欠者数の確認・委任状(1025通)および会場参加により、本総会成立を宣言。

第1号 議案

令和4年度活動概要報告

- ・西部会および全国会は2年連続で中止。
- ・支部会活動も2年連続で中止となったが、各支部会長へは医学部50周年記念行事や本総会出席の案内等、藤医会との交信交流増えた。
- ・執行部会は月に一度、行事前には毎週または週に数回、主にWEB会議を行った。
- ・各支部訪問は今後再開する意向であるが、しばらくは各支部での開催に温度差が生じる可能性を含め、各支部との連絡調整を進める。

第2号 議案

令和4年度収支報告

- ・別紙「令和4年収支計算書」の概要説明
- ・〔質疑1〕:「奨学金」の支援寄付(学園に対して)について
奨学金利用者に医学部生が多いのであれば、藤医会からの(学園側への)寄付金を増額してはいいかがか。
(回答):現状、学園側の資金は間に合っているが、対象者増で増額も検討する。

第3号 議案

令和5年度活動計画・予算案承認の件(活動計画の概要説明)

- ・西部会、全国会が2年間延期、今年は3年ぶりに開催予定。
- ・順延しているが、開催翌年(令和6年)に本学が主幹当番の予定。
- ・その他の主な行事は例年通りの開催予定。
(令和5年予算案の概要説明)
- ・医学部50周年行事への支援金計上
- ・見合わせていた海外留学生の受け入れ再開等に伴う支援金の計上
- ・藤医会事務局人件費増額計上(西部会準備等に伴う事務局増員予定)
〔質疑1〕:支部会活動再開に伴う経費の増額計上はいいかがか。
(回答):「支部訪問費」で賄えない場合は「予備費」で充当予定としている。
〔補足〕:「里親制度」の予算はかなり効果的に使えている。大変助かっている。
以上、令和5年予算案の決議 ⇒ 承認。

第4号 議案

藤医会定款の確認について

- ・当会の定款変更「案」は昨年2月の総会で承認、同5月に法務局届出し承認済み。
- ・今回は定款本則に付属する「細則(案)」の説明および承認の依頼。

〔質疑1〕:総会への代行出席の場合はどうなるのか。

(回答):委任状等で可能。

〔質疑2〕:代議員の「規定数」に関しての規定について。

(回答):定款本則上、代議員は「50名以下」として「固定」と定めている。

「固定」の理由は、年々卒業生会員数に比例して代議員が増えると招集や決議等の実務に影響が出るため、「同窓会」という実情に則してそのように定めた。

並行して、代議員は任期毎に随時交代可能として客観性維持に努める。

(補足):現藤医会(一般社団法人)の前段階は「中間法人」であり、柔軟な同窓会活動を継続するためにも必要最低限の規定に収めている。

(補足):中間法人からの移行が柔軟な同窓会活動に寄与していると感じている。

第5号 議案

医学部創立50周年同窓会記念誌編集

- ・藤医会で「50周年記念誌」(DVD等)作成を予定し、撮影等の準備を進めている。
- ・「学園50周年記念誌」(過去に配布済み)の再配布も検討している(ただし、残にかぎりがあるため希望者のみにするか、今後検討していく)。

第6号 議案

医学部創立50周年記念式典、講演会の報告

- ・令和5年2月19日に「医学部創立50周年記念式典」が無事開催。
- ・来賓ならびに学園関係者、総勢350名ほどの規模で開催。
- ・著名人による記念講演会も無事挙行された。

第7号 議案

学内情報の報告(医学部入試・国家試験情報・大学近況等)

- ・医学部入試:受験者数(前期)は例年並み、共通テスト利用受験者が増えている。
- ・国家試験:合格率97%の高水準の見込み、留年せずに進級すればほぼ全員国試合格。
- ・学内近況:「スクールパス」が効果的に運用、学内レストラン等学内環境が充実。

第8号 議案

今後の藤医会名簿について

- ・年々、個人情報の管理が困難となっている。
 - ・今後は名簿を「発刊無し」または「希望者のみ有料配布」を検討している。
 - ・仮に発刊しない場合でも、卒業生の動向管理は継続する意向。
- 〔質疑1〕:名簿関連と思われる様々な連絡が多く、困っている。
- (回答):そのようなご意見は他にもあり、真摯に受け止め、改善対応を継続する。

第9号 議案

藤田学園同窓会活動報告

- ・令和5年の「ホームカミングデー」は10月に開催予定。
- ・「ホームカミングデー」の開催場所を学内開催(見学を兼ねて)にするなど検討中。

第10号 議案

その他

- ・令和4年12月に会長任期満了に伴う会長選挙を告示、立候補者は現会長のみ。
- ・次期会長立候補者、一回生黒田先生、満場一致で承認。即時継続就任となる。
- ・会長挨拶:順延している西部会幹事(令和6年予定)を中心に活動継続。
- ・新定款に基づく「代議員」については、選任した候補者本人へ直接確認、承諾が得られた代議員候補者(別紙一覧)を選定する。

収入の部				
(単位：円)				
科 目	予算額	決算額	増減	摘 要
会費収入	18,000,000	18,000,000	0	令和4年度入学生120名
雑収入	2,000,000	2,076,529	76,529	東京海上保険事務手数料 2,075,964円 受取利息 42円 その他523円
前年度繰越金	100,196,140	100,196,140	0	
合 計	120,196,140	120,272,669	76,529	

支出の部				
科 目	予算額	決算額	増減	摘 要
1. 会報、会員名簿の発行				
会誌発行費	8,400,000	753,094	△ 7,646,906	山菊印刷、サラト
名簿作成費	1,500,000	0	△ 1,500,000	
2. 会員の福利厚生				
藤田学園同窓会費	3,600,000	3,600,000	0	藤田学園同窓会へ（120名分）
全国医科大学同窓会費・支部訪問費	2,000,000	111,004	△ 1,888,996	会費
研修医助成金	500,000	500,000	0	研修医補助金
3. 医学部と在学生への支援				
寄附金	5,000,000	0	△ 5,000,000	
医育助成基金	750,000	750,000	0	藤医会医育助成基金（医学部管理）
海外留学生助成基金	0	0	0	
教育企画室賛助費	1,000,000	1,000,000	0	医学教育基金（医学部管理）
国試対策助成費	1,250,000	1,250,000	0	藤医会国試対策（医学部管理）
里親制度助成費	500,000	420,000	△ 80,000	研修希望学生の補助
奨学金	1,000,000	1,000,000	0	学生のための奨学金
学生・会員向け備品費	500,000	0	△ 5,000,000	
4. その他の事業				
総会会議費	2,500,000	2,200,842	△ 299,158	総会費、会議費、講演会等
藤医会室賃貸料	200,000	200,000	0	藤田医科大学2号館201
地代家賃	100,000	0	△ 100,000	駐車場代
慶弔費	1,500,000	244,966	△ 1,255,034	祝賀会、葬祭費等
通信費	500,000	82,078	△ 417,922	LAN配線、NTT、FAX等
事務用消耗品費	500,000	23,663	△ 476,337	用紙代、事務費等
事務人件費	600,000	416,500	△ 183,500	
租税公課	100,000	71,000	△ 29,000	法人税等
顧問料	924,000	900,000	△ 24,000	
雑費	500,000	405,520	△ 94,480	振込手数料、ホームページ、旅費等
5. 予備費	500,000	0	△ 500,000	
6. 次年度繰越金	86,272,140	106,344,002	20,071,862	
合 計	120,196,140	120,272,669	76,529	

令和4年度

活動報告

令和4年			
1月	・学内挨拶回り	8月	・藤医会機関誌夏号発刊
1月7日(金)	・藤医会執行部会 (ウェブ)	9月10日(土)	・第30回西部会：ホテルオークラ福岡⇒中止
1月12日(火)	・総長肖像画除幕式	10月17日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)
1月14日(金)	・藤医会執行部会 (ウェブ)	10月18日(火)	・総長像除幕式
1月24日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)		ホームカミングデー 中止
2月7日(月)	・卒業生ガイダンス	11月12日(土)	・藤田学園同窓会総会
2月14日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)	11月19日(土)	・第31回全国会：東京プリンスホテル⇒中止
2月25日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)	11月21日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)
2月26日(土)	・第18回藤医会総会 (名古屋観光ホテル 3階 桂の間)	12月3日(土)	・藤医会理事会 (グランコート名古屋 6階 おしどりの間)
3月6日(日)	・藤田医科大学看護専門学校閉校記念式典	12月19日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)
3月13日(日)	・藤田学園合同卒業式	令和5年	
3月14日(日)	・藤医会執行部会 (ウェブ)	1月11日(水)	・藤医会執行部会 (ウェブ)
4月7~8日(木金)	・新入生ガイダンス	1月16日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)
4月10日(日)	・藤田学園合同入学式	1月23日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)
	研修医ガイダンス	1月	・藤医会機関誌冬号発刊
4月11日(月)	・藤医会執行部会	2月6日(月)	・卒業生ガイダンス
4月18日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)	2月6日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)
5月16日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)	2月13日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)
5月20日(金)	・藤医会名古屋支部総会 (ウェブ)	2月19日(日)	・藤田医科大学医学部創立50周年記念式典・講演会
6月1~2日(水木)	・アジア大学サミット	2月20日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)
6月20日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)	2月24日(金)	・藤医会執行部会 (ウェブ)
6月25日(土)	・藤医会執行部会 (名古屋観光ホテル 1階 柳城)	2月25日(土)	・第19回藤医会総会 (グランコート名古屋 クリスタルルーム)
7月11日(月)	・藤医会執行部会 (ウェブ)	3月12日(日)	・藤田学園合同卒業式

令和5年度 藤医会 収支予算案

自 令和5年 1月 1日
至 令和5年12月31日

収入の部

(単位: 円)

科 目	予算額	摘 要
会費収入	18,000,000	令和5年度入学生120名
雑収入	2,000,000	東京海上保険事務手数料等 2,000,000円
前年度繰越金	106,344,002	
合 計	126,344,002	

支出の部

科 目	予算額	摘 要
1. 会報、会員名簿の発行		
会誌発行費	1,500,000	山菊印刷、サラト
50周年記念誌作成費	8,000,000	50周年記念誌
※ビデオ編集・出張費	2,000,000	名簿維持管理維持費
名簿作成費	1,500,000	
2. 会員の福利厚生		
藤田学園同窓会費	3,600,000	藤田学園同窓会へ(120名分)
全国私立医科大学同窓会費・支部訪問費	2,000,000	会費、旅費、宿泊費等
研修医助成金	500,000	
3. 医学部と在学生への支援		
寄附金	5,000,000	藤田学園その他、学会賛助費(史跡保存目的を含む)
医育助成基金	750,000	藤医会医育助成基金(医学部管理)
海外留学生助成基金	750,000	藤医会国際交流基金(医学部管理)
教育企画室賛助費	1,000,000	医学教育基金(医学部管理)
国試対策助成費	1,000,000	藤医会国試対策(医学部管理)
里親制度助成金	500,000	
奨学金	1,000,000	学生のための奨学金積立
学生・会員向け備品費	500,000	
4. その他の事業		
総会会議費	2,500,000	総会費、会議費等
藤医会室賃賃料	200,000	藤田医科大学2号館201
地代家賃	100,000	駐車場代
慶弔費	1,500,000	祝賀会、葬祭費等
通信費	500,000	LAN、NTT、FAX、郵送費等
事務用消耗品費	500,000	用紙代、事務費等
事務人件費	1,000,000	
租税公課	100,000	法人税等
顧問料	924,000	
雑費	500,000	振込手数料等
5. 予備費	500,000	
6. 次年度繰越金	88,420,002	
合 計	126,344,002	

令和5年度 活動予定

令和5年 4月 8日(金)	・新入生ガイダンス
4月 9日(日)	・藤田学園合同入学式 研修医ガイダンス
5月	・藤医会名古屋支部総会(ウェブ)
8月	・藤医会機関誌夏号発刊
9月9日(土)	・第30回西部会: ホテルオークラ福岡 ・東名古屋支部会
10月28日(土)	・ホームカミングデー
11月11日(土)	・藤田学園同窓会総会
11月25日(土)	・第31回全国会: 帝国ホテル(東京)
12月	・藤医会機関誌冬号発刊・名簿発刊はなし
12月 2日(土)	・藤医会理事会(名古屋観光ホテル)
2月24日(土)	・第20回藤医会総会
3月10日(日)	・藤田学園合同卒業式

原則として月一回、執行部会開催、年三回程度、理事会開催

藤医会 卒業生教授就任記念講演会

～講演会模様配信のお知らせ～

期間限定：機関誌発行日より一ヶ月間となります



第二部：卒業生教授就任記念講演会（3名）

日時 令和5年2月25日(土) 午後6時～

会場 28階クリスタルホール

1) 医学部総合消化器外科学

臨床教授：升森 宏次 先生（13回生）

演題名：Early Exposureを軸とした
新しい藤田式外科教育の
構築を目指して

<https://youtu.be/K9N-ilzbaOo>



2) 医学部外科・緩和医療学

臨床教授：小出 欣和 先生（15回生）

演題名：外科医としての経験を活かした
緩和医療の確立を目指して

https://youtu.be/85KzhKOK4_Q



3) 医学部産婦人科学

講座教授：西澤 春紀 先生（20回生）

演題名：未来に向けた情熱と挑戦

<https://youtu.be/Eq3ByQtnFxo>



今回の講演会は新型コロナウイルス感染症禍のため、限られた参加者の中での開催となりましたため、卒業生講演会の模様をビデオ録画いたしました。機関誌発行日より約一月間に限定して配信させていただきます。皆様のアクセスをお待ちしております。

藤医会50周年記念誌

『写真・メッセージ』ご協力のお願い

私たちの母校、藤田医科大学医学部は2022年で創立50周年を迎え、現在藤医会では「藤医会50周年記念誌」の発行に向けて企画・準備を進めております。

「藤医会50周年記念誌」の作成案として、「卒業生からのメッセージ（ビデオメッセージ・顔写真メッセージ）」などを企画しております。

過日開催されました「医学部50周年記念式典」や「第16回藤医会総会」にご出席の皆様はすでに撮影とコメントの協力をいただきました。今後さらに幅広く卒業生の輪をひろげられればと思います。

個人情報等の兼ね合いから「顔写真」の提供に不安を感じる方もおられると拝察いたしますが、50周年の節目の機会に卒業生の“連帯”を感じていただければとの想いもあり、ご賛同の折には別紙「写真・メッセージ投稿方法」をご参照のうえ、ご協力をお願い申し上げます。（※顔写真等の投稿につきましては編集業者様ご協力のもと、厳重に管理いたします。）

微笑ましい笑顔の残る50周年記念誌の完成に皆様のお力添えをいただきますよう、藤医会執行部一同、心よりお願い申し上げます。

藤医会50周年記念誌 写真・メッセージ 投稿方法

藤医会50周年記念誌への投稿は、下記「Eメール」で承ります。

投稿先 **info@toikai-support.com**

（写真の添付・メッセージ投稿）



↑メールアドレス↑
読み込み
二次元バーコード

メールに下記をご記入願います

1. 氏名(旧姓)
2. 卒業年または回生
3. 50周年へのメッセージ(50字以内)

※期日は**2023年9月30日(土)**です

お写真に関して

- ・「近影」をお願いします。
- ・「ご自身のみ」をお願いします。（集合写真の切り抜き等は事前に各自で）
- ・画像データは返却いたし兼ねます。

掲載例（ほぼ実物大）



黒田 誠 1回生

こちらにメッセージが入ります。この文章ダミーです。藤田医科大学医学部 創立50周年記念誌。こちらにメッセージが入ります。この文章ダミーです。藤田医科大学医学部 創立50周年記念誌。

医学部里親制度への藤医会ご支援と 新しいPET検診、セラノスティクスセンターのご紹介



藤田医科大学 医学部
放射線医学 教授

外山 宏
(7回生)

藤医会の皆様、ご無沙汰しております。医学部7回生、放射線医学教授 外山 宏です。若い医師の勧誘活動で、藤医会にご援助いただいております医学部の里親制度、会員の皆様にぜひご利用いただきたい新規装置による乳がん検診を追加しましたPET検診、現在建築中のセラノスティクスセンターについてご紹介させていただきます。

1. 医学部里親制度と研修医、専攻医の勧誘活動について

少人数の学生に対して教員が食事会を開催し、学業や将来の進路などを相談する指導教員制度は先生方が在学中にも存在していたと思います。最近、6年生は里親制度として希望する診療科を自分で選択し、教授以下複数の教員によって、在学中と初期研修医の2年間指導する制度になりました。初期研修医制度と専門医制度が変化したことによります。近年、藤田医科大学病院での初期研修は人気が高く、他大学からも多くの希望者があります。本学卒業生も採用されるのは容易ではありません。本学から市中病院での研修を希望する学生も多くいます。また、後期研修としての専攻医になるために、初期研修の間に16領域から1つ専門分野を選択しなければなりません。里親制度は在学中のみでなく、初期研修の間、他学で初期研修を行う卒業生にも連絡することが可能です。卒前学生の指導会は、食事会の費用は医学部父母の会の予算から援助いただけますが、卒後の指導会は援助がなく、これまで医局、教授が負担していたため、あまり熱心に行われていませんでした。昨年度より、各診療科による初期研修医の指導会としての食事会に藤医会が一部援助していただけることになり、大変助かっています。本学で初期研修を行っている他学出身の研修医、市中病院で研修している研修医も援助の対象になるため、本学の専攻医の勧誘活動に有効に使わせていただいています。2022年は1年間で21診療科、84名の初期研修医に対して援助いただき、活発に指導会が行われました。今年度、多くの専攻医が本学での研修を選んだのは、藤医会のご援助の賜物と大変感謝しております。昨年度の藤医会総会で報告させていただきました。2023年も5月までに6診療科、23名の初期研修医に対して援助いただきました。今後とも藤田医科大学病院の若手の人材確保にご協力いただければ大変有難いです。

2. 新規PET装置による検診メニュー追加のご紹介

2023年3月、第一教育病院の全身用PET/CT装置2台に加えて、頭部・乳房用PET装置を新規導入し、検診メニューを追加しました。従来のPET/CT装置は一度の検査で全身のPETとCTを撮像し、がんの早期発見や全身の広がり調べるのに威力を発揮します。本装置は頭部及び乳房に特化した装置で、より高解像度の画像を得ることができます。本装置により、痛みを伴うマンモグラフィを行わずに乳がんの精密検査を無痛で行うことが可能です。マンモグラフィで乳がんの検出が難しい高濃度乳房でも乳がんの検出が可能です(図1)。全身PET/CT検査に引き続いて乳房の撮像を行いますので、放射性医薬品の追加投与や被ばくの増加はございません。今後認知症治療薬が承認されましたら、高解像度の脳の検査が得られる本装置による認知症のPET検診も検討中です。

ちなみに2023年10月開院の羽田イノベーションセンターにも全身用PET/CT装置1台、頭部・乳房用PET装置を導入し、常勤の放射線診断専門医も勤務する予定です。

藤医会の皆様とご家族様の健康管理、患者様の検査にお役に立つことができれば幸いです。



「乳房用PET新規導入会員特別価格」

全身PET-CT検診+乳房PET検診料金

132,000円(税込)

※通常価格:143,000円(税込)

※特別価格期間:2023年12月まで

PET-CT検診予約方法

低侵襲・治療センター(放射線棟)核医学フロアへ直接ご連絡ください。

TEL:0562-93-2731(直通)

月～金/8:45～17:00 土/8:45～12:30

全身PET-CT検診料金

99,000円(税込)

図1: 乳房用PET装置と全身PET-CT、乳房PET検診

3. セラノスティクスセンターのご紹介

セラノスティクス(Theranostics)とは、治療(Therapeutics)と診断(Diagnosis)を組み合わせた新しい概念です。近年、放射性同位元素による新しいがん治療として世界的に注目されています α 線、 β 線は、飛程が短く対外から分布を計測するのは難しいため、 ^{68}Ga や ^{18}F のような診断用核種に同じ化合物を標識してターゲット部位への集積を画像化します。これらを行うためには、施設内におけるPET薬剤の院内製造、サイクロロンと標識合成装置が必要です。現在、第一教育病院の低侵襲画像診断・治療センターに隣接するように、国内初のセラノスティクスセンターを建築中です(図2)。来年5月に運用開始予定です。完成しましたら、院内製造による患者さんに合わせたがんのPET/CT検査の薬剤提供が容易になり、脳、腫瘍の新規薬剤の開発、 α 線核種による外来でのがん治療も可能となります。藤医会の皆様の診療にお役に立つことができれば幸いです。



図2: セラノスティクスセンター完成予想図

▶ 好調維持! 第117回 (2022年度) 国家試験の結果

国家試験の結果をご紹介します(表参照)。新卒 113 名中 111 名が合格し、合格率 98.2% (全国平均 94.9%) (82 校中 14 位) でした。既卒者を合わせた全体では、118 名中 114 名が合格し、合格率 96.6% (全国平均 91.6%) (82 校中 10 位) といった好成績でした。

国試の順位を上げるために、卒業試験の合格点を操作して留年者を増やす大学もありますが、本学はそのような方法を取りません。予め、年度初めのガイダンスで「教務委員長が卒業試験 1 回目と 2 回目から算出した点数が 74 点以上なら、卒業試験 2 回目での卒業を許可します。また、卒業試験 3 回目(再試験)に回った場合、卒業試験 1、2 回目と卒業試験 3 回の点数から算出した点数が 72 点以上なら卒業を許可します!」と合格基準を学生に予告しました。

これは卒業試験と国家試験の成績との間に強い正の相関関係があるからできることです。医学部の教員は丁寧に試験問題(解説を含む)を作成し、講座を越えてブラッシュアップ(内容の確認・修正)を行いました。とりわけ医学教育企画室の室員は、卒業試験の精度管理にエネルギーを注ぎ続け、年度末の教授会では、予告通りの点数で卒業判定を行いました。

6 学年の担任(飯塚成志教授、吉川哲史教授、私)と学務課職員は、感染防御についての注意喚起を繰り返しながら、学生を支援しました。また、メンタル不調をきたした学生を早めに見つけることに留意しました。一方、学生は 6 学年 6 月から卒業までの授業内容、特に予備校が作成する国家試験対策講座の内容を学生主体で計画しました。以前よりも学生と教職員の信頼関係が増し、大学病院での研修を望む学生が増えたことに繋がっていると思われます。

医学教育企画室室長
臨床総合医学 教授

大槻 真嗣

国家試験合格率						
	新卒者	合格者数	合格率	国試受験者総数	合格者数	合格率
第117回 (2022年度)	113名	111名	98.2%	118名	114名	96.6%
第116回 (2021年度)	113名	109名	96.5%	117名	112名	95.7%
第115回 (2020年度)	104名	102名	98.1%	111名	107名	96.4%
第114回 (2019年度)	112名	106名	94.6%	120名	113名	94.2%

2023年就職状況一覧表							
	病院(本学)	病院(他大学)	病院(一般)	進学(本学大学院)	進学(大学院)	その他	合計
人数	31名	19名	57名	0名	0名	6名	113名
%	27.4%	16.8%	50.5%	0.0%	0.0%	5.3%	100%

2022年度卒業生の進路 (研修先)					
愛知県	藤田医科大学病院	愛知県	南医療生活協同組合総合病院南生協病院	埼玉県	秀和総合病院
	藤田医科大学ばんだね病院		稲沢厚生病院	東京都	総合東京病院
	藤田医科大学岡崎医療センター		稲沢市民病院		東京都立多摩総合医療センター
	大学病院		岡崎市民病院	神奈川県	小田原市立病院
千葉県	東京歯科大学市川総合病院		公立西知多総合病院	長野県	伊那中央病院
	東邦大学医療センター佐倉病院		公立陶生病院	岐阜県	岐阜県立多治見病院
東京都	慶應義塾大学病院		春日井市民病院		岐阜市民病院
	東京医科大学病院		聖霊病院		松波総合病院
	日本医科大学付属病院		西尾市民病院		大垣市民病院
神奈川県	昭和大学横浜市北部病院		中部ろうさい病院		中部国際医療センター
	昭和大学藤が丘病院		津島市民病院	静岡県	静岡市立清水病院
新潟県	新潟大学医歯学総合病院		日本赤十字社 愛知医療センター名古屋第一病院		中東遠総合医療センター
静岡県	浜松医科大学医学部附属病院		豊橋市民病院		浜松赤十字病院
愛知県	名古屋市立大学病院		名古屋医療センター	三重県	鈴鹿中央総合病院
三重県	三重大学医学部附属病院		名古屋記念病院		国立病院機構三重中央医療センター
京都府	京都府立医科大学附属病院		名古屋掖済会病院	滋賀県	長浜市民病院
長崎県	長崎大学病院	北海道	岩見沢市立総合病院	大阪府	ベルランド総合病院
	一般病院		勤医協中央病院		大阪府済生会中津病院
愛知県	JA愛知厚生連 海南病院	栃木県	上都賀厚生農業協同組合連合会 上都賀総合病院	兵庫県	赤穂市民病院
	JA愛知厚生連 江南厚生病院		那須赤十字病院	鹿児島県	いまきいれ総合病院

HOME COMING DAY

藤医会会員の皆様へ 2023 ホームカミングデー 開催のお知らせ・参加登録のお願い

藤田学園では3年ぶりに「2023 ホームカミングデー & 懇親会」が開催されます。藤医会では藤田学園同窓会と共に全面的に後援いたします。

藤医会会員の皆様には、どなたでもご参加いただけますので、この機会に新しく生まれ変わった母校を訪れ、同級生で集まり、旧交を温めては如何でしょうか。

また、**2023年は医学部6回生(1983年卒)と16回生(1993年卒)がそれぞれ卒後40周年と30周年を迎えます。**卒後周年記念にあたる皆様には長きにわたり社会に貢献されたことを讃えて表彰させていただきますと存じます。

今回、これまで藤医会が独自に行ってまいりました**藤医会二次会は会場の都合により開催いたしません**ので、是非、午後6時から開催される「2023ホームカミングデー懇親会」にご参加いただきたくご案内申し上げます。(下記ご参照下さい)

開催日 **2023年10月28日(土)**

ホームカミングデー学内見学 11:30~15:00

新しくなった学内を自由に見学

同日フジタEXPO2023(学園祭、模擬店、市民公開講座、学園自由散策など)開催中

受付時間 11:30~13:00(昼食券配布)

受付場所 フジタホール500(大学1号館5F)(現時点で未定・検討中)

ホームカミングデー懇親会 18:00~20:00

藤田学園理事長・病院長・学部長も出席されますので是非ご交流下さい。

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

7階「ザ・グランコート」

申込方法 藤田学園同窓会ホームページ「2023 ホームカミングデー & 懇親会」

www.fujita-hu.ac.jp/dosokai/homecoming/schedule.html

申込期間 7月31日(月)~9月30日(土)

参加費 無料

準備の都合上、必ず、藤田学園同窓会ホームページからの参加予約をお願いいたします。

既に藤医会の皆様のお手元には、

- ① 藤医会50周年記念誌「写真・メッセージ」ご協力をお願い
- ② 藤医会の皆様へ ホームカミングデー 参加登録のお願い
の案内状が別便で届いていると存じます。

改めて、本誌に掲載させて頂きましたので、ご参加希望で未登録の方におかれましては、是非、ご登録をお願いいたします。



ホームカミングデー
参加申し込みフォーム
読み込み用
二次元バーコード

藤医会
事務局

住 所 〒470-1192 愛知県豊明市杻掛町田楽ヶ窪1番地98 藤田医科大学2号館 2階
一般社団法人 藤医会(藤田医科大学医学部同窓会)

電 話 ①藤田医科大学2号館 2階 藤医会室 0562-93-4025(月・水・木 午後2時~4時30分)
②藤田医科大学2号館 14階 管理室 0562-93-2794(月~金:午前10時~午後3時30分)

FAX 0562-93-4021